

令和2年10月30日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

『ICT（カメラ画像）を活用したまちの賑わいの創出』実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しており、今年3月に、本事業を実証実験プロジェクトとして採択いたしました。

この度、採択企業による実証実験が下記及び別添のとおり開始されますので、お知らせします。

記

1 事業者

九州大学

2 実証実験内容（※実験詳細は別紙のとおり）

(1) 概要

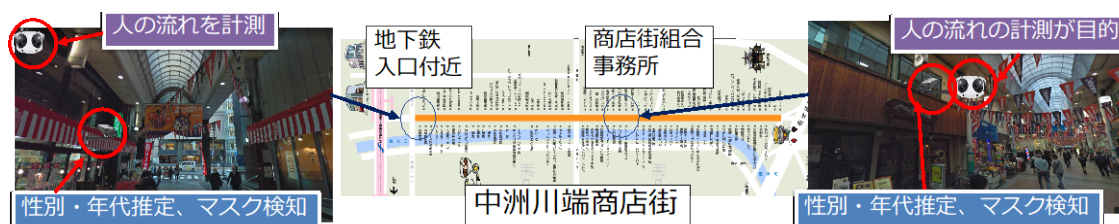
本実証実験では、AI画像解析技術を用いて、取得した画像から商店街等における「属性付き人流データ」を生成し、さらに気象データやイベント情報等を加えることで、様々な要素が売上げに与える影響を分析されます。

(2) 期間

2020年11月1日～2021年3月31日

(3) 場所

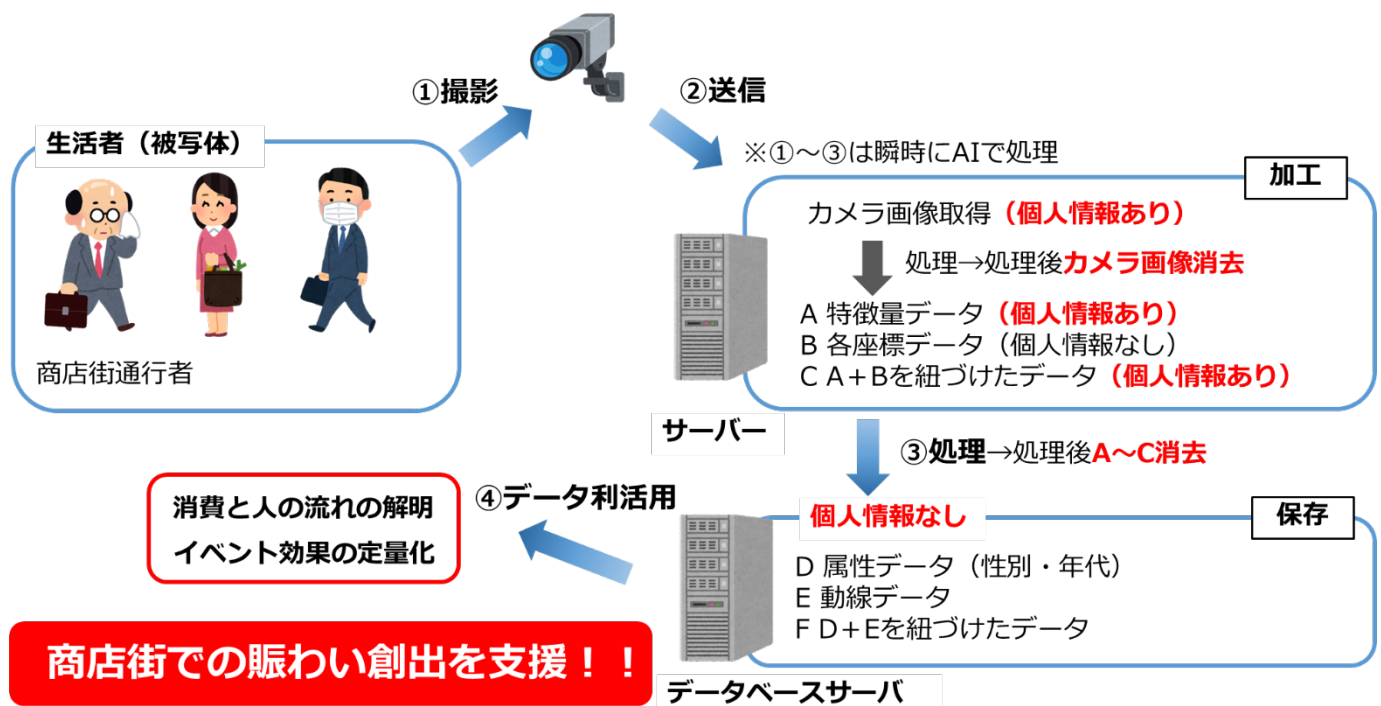
川端通商店街（上川端商店街、川端中央商店街）の2箇所



(4) カメラ画像の取扱いについて

本実証事業では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて実施いたします。画像データの処理の流れは下記の通りで、本実証では個人情報取得することはありません。本実証実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含んでおらず、データから個人を特定することはありません。

データ処理のイメージ



プライバシーポリシー:

URL: https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka_pj/

3 問い合わせ先

- 福岡市実証実験フルサポート事業に関すること
福岡市総務企画局企画調整部
担当：井上, 井口 電話：092-711-4357
- 実証実験の内容・カメラ画像の取扱いに関すること
九州大学持続的共進化地域創成拠点
担当：准教授 高野 電話：092-802-6668
E-mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

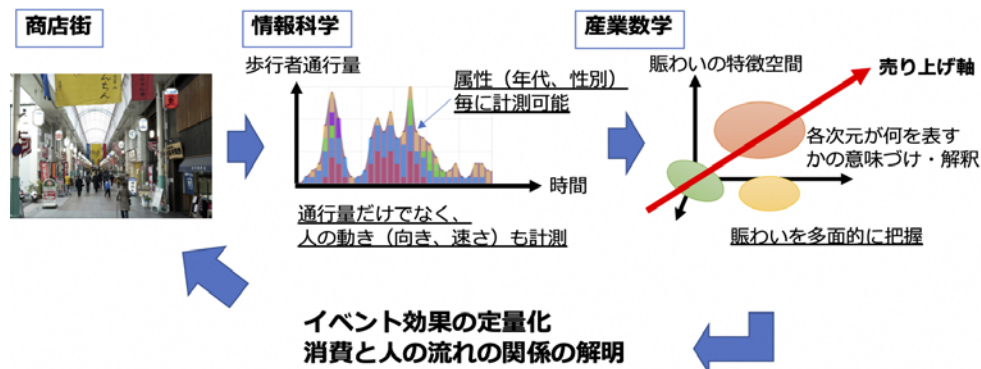
以上

国立大学法人九州大学

九大 COI、福岡市実証実験フルサポート事業において商店街での実証開始 ～商店街の賑わいの創出に向けた人流分析環境を構築～

国立大学法人九州大学持続的共進化地域創成拠点（文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」拠点、九大 COI）は、まちの「賑わい創出」にかかる都市サービスの社会実装を推進するべく、公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験「ICT を活用したまちの賑わいの創出」を川端通商店街（上川端商店街、川端中央商店街）において開始いたします。

本実証実験「ICT を活用したまちの賑わいの創出」では、AI 画像解析技術を用いて、商店街等における「属性付き人流データ」を生成し、さらに気象データやイベント情報等を加えることで、様々な要素が売上げに与える影響を分析します。新型コロナウイルスによるパンデミック終息後の地域経済の復興にも貢献できるよう、有用性を検証します。



九大 COI では、実証実験を参画機関と共に推進することで、商店街における属性付き人流データの活用による「賑わい分析 BI ツール」の社会実装を目指します。また、公共空間での社会実装であることを考慮し、セキュリティやプライバシー保護に配慮しながら、さまざまな都市サービスとの連携を視野に、アプリケーションや基盤開発、社会的受容性の検証なども実施していきます。

■ 国立大学法人九州大学の Web サイト

<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

■ 持続的共進化地域創成拠点の Web サイト

<https://coi.kyushu-u.ac.jp/>

日本電気株式会社

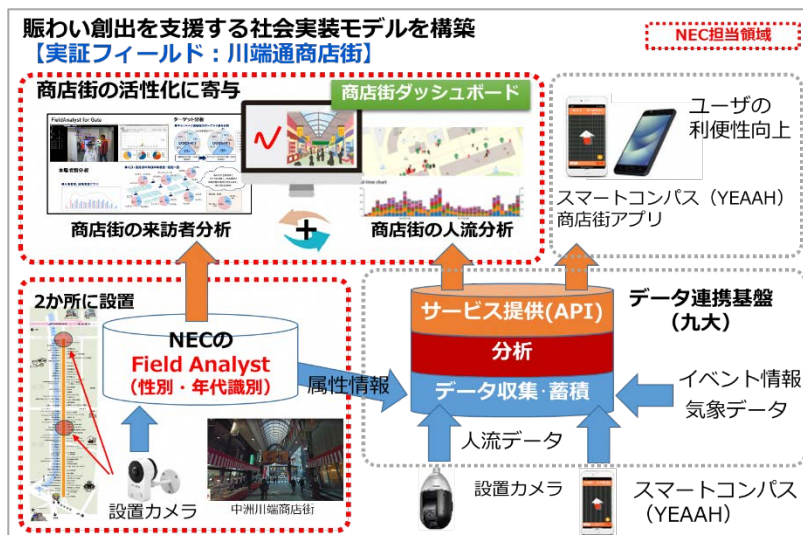
九大 COI と連携し、カメラを使った商店街の人流分析に参画

日本電気株式会社(以下 NEC)は、企画提案の段階から九大 COI 様と連携することにより、産学連携を図りながら当社の強みである画像認識技術を社会実装し、社会課題解決に貢献していくことを目的としております。今回、公共空間でのカメラ画像活用における社会実験フェーズに至ったことで、以下の確認、実証を行うことができるようになりました。

- ① 社会的受容性
- ② リアルな住民ニーズ・課題の掘り起こし
- ③ 技術の有用性

更に、現在のコロナ禍の下、公衆衛生の観点からマスク着用の計測も実施いたします。本実証実験の成果は、福岡市のスマートシティ構想へのフィードバックをはじめ、社会実装を進めることで、更なる社会課題の解決に向けて貢献できるものと確信しております。

実証における NEC の役割



本実証実験では、NEC ソリューションイノベータ株式会社の 画像による人物像分析システム「FieldAnalyst」 を活用して画像から自動で人物、顔を検出し、年齢・性別などの属性情報を推定しています。経済産業省「カメラ画像利活用ガイドブック ver2.0」に則って、個人情報の扱いには十分に配慮し、個人情報扱いではない「属性情報」データのみを分析の対象としています。

「Field Analyst (フィールドアナリスト)」とは



「Field Analyst」は画像から自動で
人物・顔を検出し、性別／年齢を推定する
画像認識技術を活用した製品です。

Covid-19を踏まえ追加

顔の装着物も推定
メガネ・マスク・
帽子などの顔装着
物も推定可能

リアルタイム計測
リアルタイムで
入退場者数を計測
性別/年齢も集計

**プライバシーへの
配慮**
顔画像を録画せず
計測値のみ保存

**豊富な実績と
ノウハウ**
「JISA Awards 2015」
Winner

ライセンス数
国内外 **65,000** 台

販売実績
10 年以上

利用実績
世界 **20** カ国

本実証で活用する製品

FieldAnalyst for Gate
建物やイベント会場などで入退場数の流れを把握
商業施設やイベント会場などの入り口に設置したカメラを用いて、入
退場者数をリアルタイムに計測します。さらに来場者の性別/年齢もリ
アルタイムに分析、集計します。

製品紹介 URL :

<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sl/fieldanalyst/>

■プライバシーへの配慮

本実証事業では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて、画像データ取得に関する事前告知（通知文の掲示、Web での周知）を実施します。また、今回、画像データは解析後即削除します。今後は、防犯カメラ機能を保持しつつ、生活支援目的の運用を実施できるよう指針の確立を目指します。

本実証事業において取得する個人情報（個人情報保護に関する法律その他関係法令に従い、個人情報の適切な取得・利用・管理に努めてまいります。本実証実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含まず、データから個人を特定することはありません。本実証実験の概要を実証場所に掲示し、さらに以下の九州大学の HP 上にプライバシーポリシーの掲示を行っています。

https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka_pj/

■会社概要

会社名：日本電気株式会社 (NEC Corporation)

設立日：1899年(明治32年)7月17日

代表取締役：執行役員社長 兼 CEO 新野 隆

本社所在地：東京都港区芝五丁目 7 番 1 号